

II MADDにおける援助者のための研修ガイド

A HOW-TO FOR VICTIM ASSISTANCE

被害者支援の手引き

1993 初版

Mothers Against Drunken Driving

1997 改訂版

はじめに

MADD (Mothers Against Drunken Driving)は、飲酒運転の防止と、これによる暴力的（交通）犯罪の被害者のサポートを目的とする、アメリカの全国規模の非営利・市民運動組織である。飲酒運転ひき逃げ事件によって13歳の娘を喪った母親キャンディー・ライトナーが、1980年にカリフォルニアで開始したささやかな活動に始まったが、市民の支持と政府の援助を受けて大きな発展を遂げた。現在、本部をテキサス州のHurstに置き、600以上の支部と地域活動チームを持ち、300万人以上の会員および支持者を擁する大きな組織となっており、本部には40人ほどの常勤スタッフが配置されている。

MADDは、飲酒運転の防止のために様々な活動（各種キャンペーン、赤いリボンプロジェクトによる100万本のリボンの配布、必要な行政指導や関連法規の整備を求める諸活動等）を行い、アメリカ社会に大きな影響を与えてきたが、それと同時に、被害者支援にも大いに力を注いだ。1986年にMADD本部によって開始された、ボランティアを対象とする「被害者支援講座」は、その後各州、各支部において広く実践されるようになった。MADDの「被害者支援講座便覧」には、実際の講座の例として、初級、上級のコース別に、本部ならびにいくつかの州支部の週末研修プログラム（金曜～日曜、ホームワークを含め総計40時間）が紹介されている。

筆者は、本年2月にMADD本部を訪ね、同本部が、常磐大学の長井進教授と大久保恵美子氏はじめ日本から訪れた被害者・遺族の方々のために開催された「被害者支援講座」に同席する機会を得た。MADDによる講座は、アメリカにおける各種の被害者援助者向け研修の中でも、最も充実し、洗練されたものの一つである。そこで用いられている手引き書には、MADDという組織の特徴上、被害体験を有する者が支援に関わる場合の問題についても詳しく触れているが、それらの記述を含め、我々が学ぶべきことが数多く記されていると思われるので、以下に多少詳しく紹介したい。

MADD 研修手引き書の目次

被害者擁護者になる準備はできていますか？

被害者擁護者質問紙

質問紙を評価する

被害者擁護者の倫理規程

MADD 被害者支援プログラムの基礎

MADD の使命

被害者とは誰か

被害者擁護者とは誰か

MADD 被害者支援プログラムの目的

被害者を「支援する」とはどういうことか

あなたの被害者支援プログラムを開始する

ニーズの査定

MADD の方針と手続き

記録の保持

被害者カバーシート

談話

コンタクト・チャート

被害者支援のサービス水準

支部のためのサービス評価の被害者支援水準

州事務所のためのサービス評価の被害者支援水準

レベルⅠ サービス

(方針1～方針9)

レベルⅡ サービス

(方針1～方針6)

レベルⅢ サービス

(方針1～方針7)

その他の被害者支援プログラム

被害者関連の公的政策の現状

上記諸項目中、我が国における被害者支援、サポート・グループのあり方を考える上でとくに重要と思われる、下線を付した項目と、その他1項目（「被害者擁護者選考のためのガイドライン」、レベルⅢサービスの、方針1の中に記されている）について、以下に逐語的に訳出し、紹介する。